

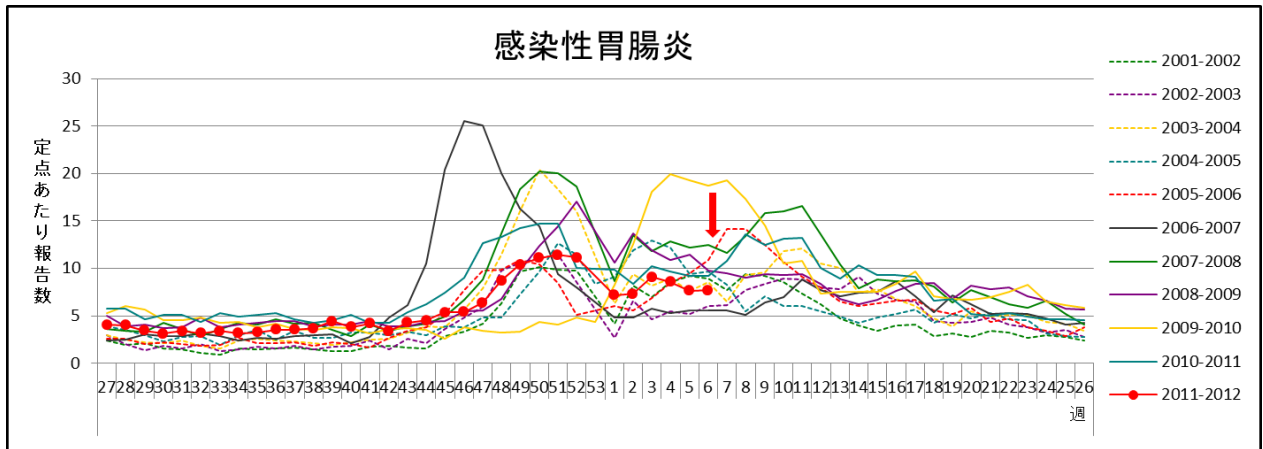
感染性胃腸炎情報 第 6 週 2012 年 2 月 6 日～2 月 12 日

○岡山県内の患者報告数は 415 名（ 定点あたり 7.69 人 ）で、前週からほぼ横ばいでした。

○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、玉野市と岡山市の小学校でありました。

【第 7 週 速報】

○感染性胃腸炎による学年閉鎖が倉敷市の幼稚園（15 日）、岡山市の幼稚園（16 日）、早島町の学校（16 日）、学級閉鎖が津山市の小学校（13 日）でありました。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週からほぼ横ばいでした（ 54 定点医療機関 定点あたり 7.63 → 7.69 人 ）。地域別では、倉敷市（ 10.55 人 ）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

第 6 週、感染性胃腸炎による臨時休業が 2 施設でありました。全国ではノロウイルスによる食中毒・集団感染事例も多数発生しています。『手洗いを励行する』『食品は加熱して食べる』など感染予防に努めましょう。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・[家庭等一般の方々へ](#) ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)

